

付録.II:各国および地域の電子処方箋関連の状況一覧表

各国および地域の電子処方箋関連の状況一覧表

	スウェーデン	デンマーク	エストニア	オランダ	ノルウェー	イギリス	ドイツ	アメリカ	カナダ	オーストラリア	韓国	台湾
医療機関数	外来薬局：1,400以上 オンライン薬局：10 病院薬局病院薬局：36	薬局：522（オンライン薬局：2）	病院：27 一般薬局：476 病院薬局：23	病院：691 薬局：1,975	薬局：約1000（大手3チェーン）	地域薬局：11,414軒	薬局：17,571軒	病院：6,129 薬局・ドラッグストア：45,311軒	病院：706 薬局数：12162軒（地域薬局：11712、病院薬局371、その他：79）	公立病院：697 私立病院：657 薬局：5,900以上	診療所：27,469か所 病院：1,315	医院：480施設 診療所：23,098施設
処方箋の電子化に関する法制度	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり	あり	あり
上記の備考	2021年5月より原則、電子処方	2020年より原則、電子処方	2010年より義務化	2023年に規定発効	2008年に電子処方箋の規定発効	2001年制度制定	2024年健康保険は義務化	2003年メディケア近代化法	・電子処方箋の導入に規制を修正する必要はないと判断（カナダ保健省の政策声明；2007年12月）	2017年の国民健康（医薬品給付）規則により可能に	2002年医療法改正	2013年7月からクラウド技術を用いてNHI MediCloud Systemが構築
処方情報の電子的送信	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	一部あり	あり
電子化率	98%	99%	99%	50%	93%	90%	—	94%	8%	25%（調査会社）	0.50%	
システムの構成	中央集中型	中央集中型	中央集中型	分散型	中央集中型	中央集中型	中央集中型	分散型	中央集中型	中央集中型+トークン	中央集中型	中央集中型
患者識別ID	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり（個人医療識別子（IHI））	あり（住民登録番号）	あり
医薬品識別ID	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	—	—	あり	あり
上記の備考	EES – Elektroniskt ekspertstöd	Lægemiddelstyrelsenより秀吾作用マスタは提供	Inxbase - Riskbase データベース ※データはMedbase Ltd（フィンランド）利用	G-Standard（Z-index社より購入）	—	dm+d	Pharma Zentral Nummer	Surescripts	PrescriberIT	—	NTIN	各施設でATCコードメンタナンス
電子処方箋システムによる警告による意思決定支援	重複投与、相互作用、高齢者、投与量 ※重複・相互作用のアラートの受信には患者の同意が必要	— （FMKオンラインでは推奨用量提示、デンマーク医薬品庁から情報提供）	相互作用	— （各医療機関で実施）	—	—	— （各医療機関で実施：ABDAデータバンクとLauer・Taxe）	— （各医療機関で実施）	薬物相互作用、電子処方箋のステータスと処方者への警告	—	—	重複投与
患者ごとの医薬品履歴の登録	あり	あり	あり	医療機関ごとに保管	あり	あり	—	なし	医療機関ごとに保管	あり	なし	あり
患者ポータルサイト	1177.com 等	sundhed.dk	terviseportaal.ee	医療機関ごとに構築	helsenorge	NHS	—	ベンダーごとに構築	PrescriberIT	my.gov	—	—

以下の文献および各国のWebサイトの情報より作成

Digital Health in Physicians' and

※ - : 調査では確認できなかった

2024年4月作成（ただし、情報収集は2023年度実施のため、内容が最新でないこともある）